

## 第12回GX実行会議 提出意見

2024年8月27日  
一般社団法人 日本経済団体連合会  
会長 十倉 雅和

これまで本会議では、GX基本方針・GX推進戦略を取りまとめ、脱炭素電源利活用方針の明確化、GX経済移行債、成長志向型カーボンプライシング、AZEC（アジアゼロエミッション共同体）構想などを具体化していただきました。

この会議の開催からわずか2年の間に、驚くほどのスピードで、こうした画期的な施策に取り組まれた岸田総理のリーダーシップに、心からの敬意と感謝を申し上げます。

そして、今後も、投資予見性確保のための政策継続性を担保し、2050年カーボンニュートラルを実現するとともに、わが国の産業競争力強化につなげていくことが極めて重要です。本日示された「たたき台」も踏まえつつ、さらに議論を深めていくことを期待いたします。その際、特に以下の2点について、重点的な対応が必要と考えます。

### 1. 核エネルギーの利活用に向けた取り組み

- ゼロエミッション電源として、再生可能エネルギーを最大限導入するとともに、原子力発電を含む核エネルギーの利活用を進めることが不可欠。国が前面に立って取り組むべき。
- まずは、安全性の確保と地元の理解を大前提に、既設の原子力発電所の再稼働を着実に進める必要。
- また、今後の電力需要増に応えるには、次世代革新炉の新增設・リプレースに向けた取り組みを加速することも重要。
- 新設のリードタイムを踏まえ、革新軽水炉の建設を早期に具体化するとともに、低コストで大規模に水素製造が可能な高温ガス炉

や、放射性廃棄物の減容化・有害度低減に資する高速炉、さらに将来を見据え、放射性廃棄物をほとんど発生させない核融合炉の開発を急ぐ必要。次世代革新炉の開発に大胆な支援策を講じ、開発スケジュールを大幅に前倒しすべき。

- 加えて、使用済み核燃料や放射性廃棄物の課題に対処するため、核燃料サイクルの確立や最終処分場の確保が必須。事業者にも不断の努力を求めつつ、国が責任をもって取り組むべき。

## 2. GX市場の創造

- 企業によるGX投資の加速を促すには、GX製品の価値が適切に評価される市場の創出が極めて重要。また、欧米と比較し、国内マーケットが小さいわが国にとっては、AZECを活用し、アジアを中心とした国際的なグリーンマーケットを獲得することも必須。
- GX投資支援策は革新的イノベーションの創出に集中し、そこで開発された革新的技術をグローバルに展開、さらに、国際標準やルールの形成も目指すべき。
- 併せて、2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素投資が中長期的に促進されるよう、わが国の産業競争力強化や企業間・業種間の公平性に十分配慮した、成長志向型カーボンプライシングの設計を通じ、GX製品を調達することの合理性を確保することも重要。

以 上